

第6回

名器ストラディバリウスとハープの音色に酔いしれる一夜 お花見コンサート ご案内

皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、今回で6回目となります実相院主催「お花見コンサート」を、下記の通り企画いたしました。今年バイオリンの第一人者篠崎功子さんと、こちらもハープの第一人者、篠崎史子さんをお迎えいたします。実はご姉妹のお二人ですが、お互いにご多忙で、ご一緒に演奏して下さるのは久々とのこと。姉の篠崎功子さんは世界に認められる名器・ストラディバリウスをご自身の愛器(愛称:Webbs)として演奏活動を続けていらっしゃいます。実相院の本堂に響き渡る世界最高峰の音を是非お楽しみ下さい。



心躍る春のひと時を皆様とご一緒させて頂きましたら幸いです。皆様のご来院を心よりお待ちしております。

合掌
実相院住職

記

日 時：平成23年4月3日(日)

16:30 開場

17:00 バイオリン&ハープ 演奏

【演奏予定曲(抜粋)】

バイオリン:「チゴイネルワイゼン」(サラサーテ作曲)

「冬より第二楽章」(ビバルディ作曲)

ハープ :「六段」

※黛敏郎氏が篠崎史子さんの為に作曲。

19:00 終了予定

場 所:実相院本堂

チケット:大人 ¥2,000 (高校生以上)

子供 ¥1,000 (中学生、小学生) ※小学生未満は無料

※定員 200席。全自由席。定員になり次第、締め切り。

購入方法:下記のどちらかの方法にてお求めください。

①実相院にて直接購入。

②電話(03-3386-2472)にてお申し込み。振込用紙をご送付。
代金の振込を確認後にチケットを郵送。

～ 出演者プロフィール ～

ISAKO SHINOZAKI



篠崎 功子 (しのざき いさこ)

「ヴァイオリン早教育」で顕著な業績をのこした亡父篠崎弘嗣氏に、幼少の頃からヴァイオリンを学び、4歳で初の公開演奏を行う。13歳の時に第1回ソロ・リサイタルを日比谷公会堂で開く。1959年、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校に入学し兎東龍夫に師事。1962年、桐朋学園大学に進み、在学中にジャンヌ・イスナール、斉藤秀雄に師事。1964年、第33回日本音楽コンクールで第1位及び大賞を受賞。1966年、同大学を卒業し、同年の第13回パガニーニ国際コンクールで第3位を受賞。1968年、フランスに留学し、再度イスナールに師事。1974年、ロドリゴに招かれ、サンティアゴ・デ・コンポステラ・フェスティヴァルに参加。1977年、「アンサンブル・ヴァン・ドリアン」に参加。この時期からソリストとして活発に活動、ソロ・リサイタルの他、メンデルスゾーン、ベートーヴェン、ブラームス、チャイコフスキーなど、主要な「ヴァイオリン協奏曲」を数多くのオーケストラと共演。日本人作曲家の作品の初演も多い。1684年製ストラディヴァリウス「Webbs」を使用している。

現在は桐朋学園大学教授、東京音楽大学講師として後進の指導に当たっている。

AYAKO SHINOZAKI



篠崎 史子 (しのざき あやか)

桐朋学園大学を首席で卒業。在学中、J.モルナール氏に師事。その後、アメリカに留学し、M.グランジャー、M.ディリングの各氏に師事。1970年イスラエル国際ハーブ・コンクール3位入賞。73年小澤征爾指揮、ベルリン・フィル定期演奏会にソリストとして出演したほか、各地の国際音楽祭にも出演し、92年、94年イスラエル国際ハーブ・コンクールの審査委員、97年ジュネーヴ国際音楽コンクール審査員をつとめるなど、国際的な活動も積極的に行っている。2001年「ハーブの個展Ⅷ」にて芸術祭優秀賞、中島健蔵賞、サントリー音楽賞第1回佐治敬三賞受賞。これまで、リサイタルに加え、国内外の主要オーケストラと共演しており、ランパル、ニコレ、ゴールウェイ、ガロワらとも共演。現在、東京芸術大学、東京音楽大学、国立音楽大学、及び各付属高校で後進の指導にあたっている。